 水道ホットニュース	<p>(財)水道技術研究センター 〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-8-1 虎ノ門電気ビル2F TEL 03-3597-0214, FAX 03-3597-0215 E-mail jwrchot@jwrc-net.or.jp URL http://www.jwrc-net.or.jp</p>
---	---

米国における上下水道システムの技術管理者資格（その2）

3. コロラド州の技術管理者認定プログラム

コロラド州では、「コロラド上下水道施設技術管理者認定委員会（The Colorado Water and Wastewater Facility Operators Certification Board、以下「WWFOCB」という。）が、浄水施設、都市・産業排水処理施設、水道配水システム及び下水収集システムの技術管理者認証プログラムを運営している。

以下に、コロラド州における上下水道システムの技術管理者資格の認定について、その概要を紹介する。

3-1. コロラド州における技術管理者認定の概要

1. 全般的な要求事項

以下のシステムは、認定技術管理者の監督下に置かれる必要がある。

- (1) 公共水道システム
 - ・浄水施設（井戸水を塩素処理するシステムを含む。）
 - ・配水施設（給水人口が100人未満の地下水を水源とする一時利用水道システム及び浄水処理が塩素ガスを用いない塩素消毒のみのものを除く。）
- (2) 家庭排水システム
- (3) 産業排水システム

2. 報告についての要求事項

認定技術管理者の監督下に置かれる必要のある全てのシステムは、全責任を有する技術管理者報告様式を（コロラド州公衆衛生・環境局の）水質規制課に提出しなければならない。当該情報は、常に最新のものとしなければならない。

3. 認定の種類

- (1) 水道水
 - ①浄水処理：レベルは、A、B、C、D及びT
(注) T：給水人口が100人未満の地下水を水源とする一時利用水道システム及び浄水処理が塩素ガスを用いない塩素消毒のみのもの
 - ②配水：レベルは、4、3、2、1
 - ③浄水及び配水の組み合わせ：SWS（小規模水道システムー浄水処理・レベルD及び配水・レベル1相当）
- (2) 家庭排水（略）
- (3) 産業排水（略）

4. 認定試験

認定試験は、春、5月、秋、11月の年4回実施される。

5. 料金

申込料 15 米ドル及び受験料 45 米ドル（2008 年 1 月の試験時）は、申込時に支払うことができる。

認定証は、認定料（55 米ドル、2008 年 1 月の試験時）の支払いによって、認定試験の合格者に対して授与される。**認定証は、3 年ごとに更新されなければならない。**

6. 実務経験及び更新のための教育（3 年ごとに）

	実務経験	更新のための教育(3年ごとに)		実務経験	更新のための教育(3年ごとに)
浄水処理			上水配水／下水収集		
・A 級	4 年	3.0 単位	・4 級	4 年	3.0 単位
・B 級	3 年	2.4 単位	・3 級	3 年	2.4 単位
・C 級	2 年	1.8 単位	・2 級	2 年	1.8 単位
・D 級	1 月	1.2 単位	・1 級	1 月	1.2 単位
・T 級	—	1.2 単位	小規模上下水道		
				1 月	1.2 単位

(注) 1 単位の習得は、10 時間の教習で与えられる。

3-2. コロラド州技術管理者認定プログラム「2006 年度年次報告」から

この年次報告は、2006 年 5 月 1 日から 2007 年 4 月 30 日までを対象としている。

なお、コロラド州技術管理者認定プログラムは、2001 年 6 月 22 日に EPA により承認されている。

1. 認定試験

(1) 浄水及び下水処理

上下水道処理施設及び小規模システムの認定試験は、1 年間に 2 回のサイクルで実施される。春季の試験は、1 月中旬から 3 月末までの間に実施される。秋季の試験は、7 月中旬から 10 月までの間に実施される。

(2) 配水及び下水収集

配水・下水収集及び小規模システムの認定試験は、年 2 回、同じ日に複数の会場で実施される。

2. 試験データ

(1) 浄水及び下水処理

①2006 年秋の試験（合計 6 会場で実施）

（合計）

受験申込者 694 名
受験資格者 679 名
受験者 606 名
合格者 295 名（受験者に対する合格者率：48.7%）

（浄水処理）

受験者 326 名
合格者 172 名（受験者に対する合格者率：52.8%）

(下水処理)

受験者 279名

合格者 123名 (受験者に対する合格者率: 44.1%)

②2007年春の試験 (合計6会場で実施)

(略)

(2) 配水及び下水収集

①2006年春の試験 (2006年5月13日に、3会場で実施)

(合計)

受験資格者 631名

受験者 598名

合格者 354名 (受験者に対する合格者率: 59.2%)

(配水)

受験者 351名

合格者 187名 (受験者に対する合格者率: 53.3%)

(下水収集)

受験者 218名

合格者 141名 (受験者に対する合格者率: 64.7%)

(小規模システム (上下水道))

受験者 22名

合格者 19名 (受験者に対する合格者率: 86.4%)

②2006年秋の試験 (合計2会場で実施)

(略)

3. 2001年からの認定試験合格者数の推移

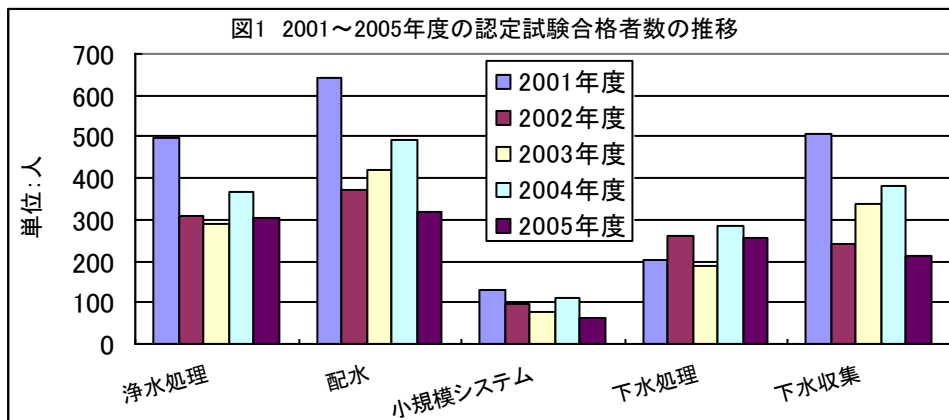
表1は、2001年からの認定試験合格者数の推移を資格区分別に示したものである。

2001年以来、新規認定又は上級レベル認定された技術管理者は、浄水処理2,080名、下水処理1,427名、配水2,575名、下水収集1,975名である。また、小規模システムについては、437名が認定されている。

表1 2001年からの認定試験合格者数の推移(単位:名)

	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度
浄水処理	495	310	292	369	305	309*
配水	644	370	418	491	321	331
小規模システム	129	96	75	113	63	61*
下水処理	201	262	186	286	255	237*
下水収集	507	243	336	380	211	298

(注)2006年度のデータには、2007年春の「浄水処理及び下水処理」試験結果は含んでいない。



4. 資格区分別にみた認定者の総数

上水道関係について、資格区分別にみた認定技術管理者の総数は、表2に示すとおりである。

表2 資格区分別認定者数(浄水処理及び配水)

浄水A級	浄水B級	浄水C級	浄水D級	小規模水道システム	一時利用水道	配水3級	配水2級	配水1級
697	239	592	814	391	63	830	556	1,046

5. 安全飲料水法に基づく認定技術管理者の配置に関する法令適合状況

安全飲料水法では、市町村水道システム及び専用水道システムに対して認定技術管理者の配置を求めているが、コロラド州では州法で一時利用水道システムに対しても認定技術管理者の配置を求めている。

表3～5は、これらの水道システムにおける認定技術管理者の配置に係る法令適合状況を示したものであり、各水道システムとも適合率が上昇傾向にあることが伺える。

表3 市町村水道システムにおける法令適合状況(認定技術管理者の配置)

	システム数	適合システム数	不適合システム数	適合率
2006年度	901	853	48	95%
2005年度	906	845	61	93%
2004年度	895	804	91	91%

表4 専用水道システムにおける法令適合状況(認定技術管理者の配置)

	システム数	適合システム数	不適合システム数	適合率
2006年度	178	173	5	97%
2005年度	165	161	4	97%
2004年度	161	137	24	80%

表5 一時利用水道システムにおける法令適合状況(認定技術管理者の配置)

	システム数	適合システム数	不適合システム数	適合率	実態不明数
2006年度	706	665	41	94%	53
2005年度	612	556	56	91%	147
2004年度	446	390	56	87%	~250

(文責) センター常務理事兼技監 安藤 茂

配信先変更のご連絡等について

「JWRC水道ホットニュース」配信先の変更・追加・停止、その他ご意見、ご要望等がございましたら、会員様名、担当者様名、所属名、連絡先電話番号をご記入の上、下記までE-メールにてご連絡をお願いいたします。

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-8-1 虎ノ門電気ビル2F (財)水道技術研究センター ホットニュース担当

E-MAIL : jwrchot@jwrc-net.or.jp

TEL 03-3597-0214 FAX 03-3597-0215

また、ご連絡いただいた個人情報、当センターからのお知らせの配信業務以外には一切使用いたしません。